

平成28年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立西京極中学校)

1 1回目評価

・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定			
分野	評価項目	(前年度評価を踏まえた) 自校の取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・各種指標
確かな学力	授業改善	校内研究授業(年2回)、教科会、支部研修会、委員会主催の研修会への参加、OJT担当による若年教職員の研修会	「基礎的な学力が身につけていますか」「先生はわかりやすい授業をしていますか」「意欲的に学習に取り組む姿勢が身につけてきましたか」
	家庭学習の習慣化	毎週金曜日に、生徒全員に「週末課題」を配布し、月曜に回収する。提出できなかった生徒を、学年体制で、放課後に学習させている。	「平日1日あたり、どれくらいの時間、家庭学習をしていますか」
	読書の習慣化	月曜から木曜まで、8時25分より35分ぐらいまで、「朝読書」を実施し、教員がついて読書の指導している。	「平日1日あたり、どれくらいの時間、読書をしていますか」
豊かな心	「公共の精神」に基づく態度の育成	朝の校門指導 生徒会からの呼びかけ	「あいさつ・時間・掃除など、規則正しい学校生活を心がけていますか」「登下校時のあいさつのようす」
	自他の人権尊重	道徳の時間や人権学習の指導の徹底 道徳推進教師や道徳主任による教材や指導方法の見直しを行う。	「学校内の様々な集団で人権を大切にする雰囲気がありますか」「道徳や学級活動、行事などを通して心の成長がみられましたか」
健やかな体	基本的な生活習慣の確立	基本的な生活習慣の確立に向けて、「早寝、早起き、朝ご飯」を呼びかける。	「健康なからだづくりのため規則正しい生活習慣を心がけていますか」「一日どれくらい睡眠時間をとっていますか」
	体力の向上	保健体育の授業の充実やNKG体操の活用 部活動の活性化	「学校生活の中で運動に親しみ、体力が向上しましたか」
独自の項目	小中一貫教育の推進	四校校長会(月1回程度) 四校教頭による密接な情報交換と交流、夏期小中合同研修会 四校教務主任会、四校研究主任会、事務職員ブロック会議	中学校体験授業を終えた後の小学校6年生の感想等。 小中合同研修会の成果、各連携会議のようす



・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	
	評価日	平成28年10月13日
	評価者・組織	校長・教頭・教職員
アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	分析を踏まえた改善策
全国調査質問紙の回答から、「授業はわかりやすい」という回答が全国平均を上回っている。同様に、「授業の中で目標が示されている」「振り返りがなされている」との回答も多い。	これまでの授業改善等の取組に一定の成果はみられるものの、全国調査等の結果から、本校生徒の力を伸ばし切れていない現状が明らかとなっている。	初めにねらいを明示し、最後に振り返りを行うという授業スタイルを各教科の授業で徹底する。
家庭での学習習慣については、保護者・生徒も実現度の低い回答となっている。	週末課題の取組については、平日放課後の補充学習の取組とともに、一定の成果を上げている。	ボランティアを募るなど、放課後の補充学習充実のための体制を整える。家庭学習充実のための新たな取組を検討する。
全国調査質問紙より、「読書が好き」と回答する生徒は、京都市平均を大きく下回り、他の調査でも保護者・生徒ともに読書習慣に課題があるという回答になっている。	昨年度に比べ朝読書の取組を強化したが、読書習慣定着に結びつく成果を見ることはできていない。	学校図書館のさらなる整備、図書館利用の呼びかけ強化。各教科の授業での図書館利用の推進。
多くの教職員が参加し、朝夕、毎日あいさつ運動を行っている。全国調査質問紙の回答としては、「学校の規則を守っていますか」の問いに対し、全国平均より優位な回答が下回っていた。	多くの教職員が参加し、朝夕のあいさつ運動を行うことで、生徒にもあいさつする習慣の定着がみられる。また、遅刻する生徒の数も激減した。	これまでの取組を継続しつつ、12月4日に行われる右京総合防災訓練をはじめ、清掃活動等の地域行事への参加を積極的に働きかける。
人権を大切にする集団の雰囲気づくりや、道徳、学活、行事を通して心の成長について、生徒たちは良好な回答傾向を示している。	道徳、学活、行事等を通じた集団作りの中で、生徒たちは様々な意見に耳を傾けることや協力することを学び、年度当初に比べいじめや問題行動も減少している。	後期人権問題学習の時間を軸に、人権尊重を基盤としたより良い学級・学年・学校集団作りを推進する。
1年生から3年生へと学年が上がるにつれ睡眠時間が急激に減少している。規則正しい生活習慣については、余り優位な回答は得られなかった。	睡眠時間減少の理由が、学習時間によるものなのか、スマホ等の使用によるものなのか検証する必要がある。	生活・学習アンケートからは読み取ることができなかった睡眠時間減少の理由等を調査し、対応を検討する。
全校生徒の約80%が運動に親しみ、体力が向上したと回答している。部活動(文化部を含む)加入率は約85%あり、顧問の指導の下、毎日熱心に活動している。	保健体育科の授業をはじめ、体育的行事や部活動で生徒たちが楽しく意欲的に運動する姿がみられる。	適切な部活動運営の在り方について教職員が共通理解できるよう研修を深める。
校長、教務、研究主任等の小中合同会議は毎月1回を定例として行われている。中学校体験学習も、入学時の不安を減少するという意味で効果を上げている	小中一貫教育構想図の作成をきっかけに、小中一貫教育のあり方についての論議を深めることができた。	夏季合同研修会での論議のまとめを参考に、今後の西京極中学校ブロック小中一貫教育のあり方について検討を深める。



学校関係者評価	
評価日	平成28年10月25日
評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
学校関係者による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
中学校の学力の向上は、短期間に得られるものではない。はっきりしたビジョンをもって粘り強く継続することが大切である。	年2回の校内研究授業を三小学校の教員に公開するなど、授業スタイルの交流を図る。若年教員の研修を学年で発信させ、ベテランの教員にとっても良い刺激とする。
生徒だけではなく、保護者の意識改革が必要であり、そのはたらきかけを学校運営協議会の理事が、様々な場面で啓発をすることでできるのではないかと。	週末課題の取組については、課題のある生徒に対して、(水曜)、金曜の放課後に学習会を実施している。教員だけではなく、総合育成支援員、学生ボランティアを活用している。
図書室を身近な存在するためには、図書室を生徒が来室しやすい場所に変更するぐらいの意気込みが大切である。右京図書館など本格的な図書館に行く機会をつくって欲しい。	図書委員や学校司書により、図書室は、生徒にとって読みたい本がそろうなどを充実させている。いつも掃除が行き届いており、気持ちよく利用できるように整備できている。
地域で見かける最近の西京極中生は、おだやかでとても印象である。地域の活動に参加できるように部活動の時間など配慮をして欲しい。	PTA活動の奉仕活動(ペンキ塗り)や地域行事の防災訓練なども参加を学校として促し、地域の方々との交流のことに、有意義な体験としたい。
合唱コンクールの取組中には、休み時間や放課後に音楽部を中心として、美しい歌声が響いていると聞いている。文化は人づくりに役立ちます。	第2回の校内研究授業は、各学年「道徳」を計画している。このことを契機として、道徳教育・人権教育をさらに伸ばしていきたい。
全体的傾向として、睡眠時間が短い、スマホの時間が長いと読みとれる。学校だけではなく、地域や京都市をあげて取り組むような重大な課題である。	生徒会本部の挨拶運動や生活美化委員会のベル着キャンペーンを展開している。効果が上がるよう教員がサポートしている。
保健体育の授業は規律があり、楽しいと聞いている。ソフトボール部や陸上競技部などの活躍を聞いている。どのクラブも熱心に活動できている。	保健体育科の教員4人が、綿密にコミュニケーションをとり、施設の有効利用、教材をより効果的にするための教材研究に励んでいる。部活動では、密に保護者会を開き適切な運営ができるように努めている。
以前は中1ギャップを感じるころがあったが、最近では小学校から中学校にスムーズに入学できている。	夏季合同研修のそれぞれの分科会の内容を、今年度より、まとめて4校研究主任を中心に冊子を作成し、教職員全員に配布し、研鑽を図った。

平成28年度 学校評価実施報告書

2 2回目評価

・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定			
分野	評価項目	(1回目評価を踏まえた)年度末までの取組	(取組結果を検証する)アンケート項目・各種指標
確かな学力	授業改善	公開授業週間の取組 OJT担当による若年教員 対象研修会の実施	教職員年度末反省アンケート
	家庭学習習慣の定着	週末課題の取組と、それに伴う補充学習会の充実	教職員年度末反省アンケート 補充学習会参加状況
	読書習慣の定着	学校図書館の整備 朝読書定着の推進	教職員年度末反省アンケート 図書室利用人数の推移
豊かな心	道徳の時間を軸とした道徳教育の充実	道徳の校内研究授業(各学年1クラス) 道徳教育研究会主催の研修会参加	教職員年度末反省アンケート 道徳係年度末反省会
	人権尊重の精神を基盤とした集団づくり	クラスマネージメントシートによる学級分析 後期人権問題学習の取組 地域防災訓練、清掃活動への参加	教職員年度末反省アンケート 人権問題学習を終えての生徒感想文 防災訓練、河川清掃参加者
健やかな体	基本的な生活習慣の確立	朝夕のあいさつ運動 生活委員会によるベル着運動	教職員年度末反省アンケート
	健康なからだづくりに対する意識の向上	防煙教室の実施 薬物乱用防止教室の実施 性教育学活の実施	教職員年度末反省アンケート 各取組実施後の感想文
独自の項目	小中一貫教育の推進	小中一貫教育構想図の整備 中学校体験学習(6年生) 小中合同演奏会(2回)	体験学習感想文 小中合同会議(校長、教務主任、研修主任)での振り返り



・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	
	評価日	平成29年度2月17日
	評価者・組織	運営委員会
アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	分析を踏まえた改善策
「授業を通して学習の基本的な知識が身につけてきた」 「そう思う・大体そう思うを合わせて、約90%である。」	前回と同じレベルで維持できている。生徒の学習状況を把握するための机間巡視も定着している。	「本時の目標」「本時の振り返り」の内容を、より適切に改善していき、生徒の学びがさらに意欲的なものになるようにしていく。
「家庭学習の習慣が身につけてきた」 「そう思う・大体そう思うを合わせて、約62%である。」 1年間を通して週1、2回の補充学習に数名の参加	放課後の補習学習に、新しく学生ボランティアの参加や学年の教員の複数の参加もあり、充実してきている。	週末学習と放課後の補充学習を定着させ、継続できるように体制を維持していく。今後もボランティアは募る。
「読書に親しむ習慣が身につけてきた」 「そう思う・大体そう思うを合わせて、約55%である。」 図書室の利用人数は安定して増えてきている。	学校司書や学生ボランティアが活用で、図書室が充実してきている。朝読書は、定着してきているが、学級や学年により差がある状態である。	年度当初より、朝読書の意義を確認する。図書委員会により、朝読書に適した図書を紹介をしていく。
道徳や学級活動、行事などを通して自分自身、心の成長がみられた」 「そう思う・大体そう思うを合わせて、約79%である。」	学年教員によるローテーションを組むことにより、学習効果があがっている。まだすべての項目が十分とはいえない。	道徳教育の研修会への参加をより積極的に行い、係だけではなく、多くの教員が参加できる体制づくりを行う。
「クラスや学年など、学校内の様々な集団で人権を大切にする雰囲気が高まってきた」 「そう思う・大体そう思うを合わせて、約77%である。」	人権学習では意識の向上はみられるが、身の回りの学級内や部活動内でのトラブルがあり、自分自身のこととして不十分な部分がある。	地域防災の参加や河川清掃活動への参加を促し、具体的な活動を通して、実践力のある人権意識の向上をはかる。
「あいさつ・時間・掃除」など、規律正しい学校生活を心がけるようになってきた」 「そう思う・大体そう思うを合わせて、約77%である。」	ベル着運動の取組をしているときは、その数は向上している。冬に寒くなると、遅刻が増えてしまった。	キャンペーン期間中だけではなく、日常の学校生活の中で習慣化するような、生徒会活動を後押しする。
「健康なからだづくりのため、規則正しい生活習慣を心がけるようになってきた」 「そう思う・大体そう思うを合わせて、約71%である。」	保健体育の授業や防煙教室や薬物乱用教室などの取組が、全体としてその意識をあげているが、けがは減少していない。	授業中や部活動中のけがを減少させるためには、その指導者が安全に対する配慮をし、活動の始めに生徒に知らせることを徹底していく。
「日頃のあいさつや地域の行事への参加など、地域の人と関わるようになってきた」 「そう思う・大体そう思うを合わせて、約63%である。」	教員や地域の方など、大人からあいさつするとあいさつできる生徒が多いが、自分からあいさつできる生徒をもっと増やしたい	今後も小中一貫教育を推進し、地域の行事にもっと参加することにより、地域のこどもを継続的に育てていくことを確認する。



学校名(京都市立西京極中学校)

学校関係者評価	
評価日	平成29年度2月27日
評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
学校関係者による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
授業参観などの様子は、以前より落ち着いた雰囲気がかがえる。この雰囲気を維持して欲しい。	OJT担当による若年教員にに向けた研修を、来年度も定期的実施し、授業の進め方などより具体的な内容に進めていく。
いろいろなタイプの生徒がいるので、週末学習や放課後の補充学習は、ぜひがんばって欲しい。手伝えることがあったらいい欲しい。	多くのボランティアに助けてもらっています。学生だけではなく、大人の方にも学習支援ボランティアをお願いしています。
図書室は、充実してきている。また、古くからある本だけではなく、この2、3年に話題となった本が充実している。	今後も教育図書はもとより、いろんな方面の図書を選んでいく。授業でも図書室を活用していきたい。
地域行事で見かける中学生は、礼儀正しく、あいさつもすっきりできる生徒が多い。	地域行事に参加することで、地域の大人とつながり、礼儀正しくなって行くと考え、積極的に参加するきっかけをつくっていく。
地域防災で多くの生徒が規律をもって行動する姿が見られた。河川清掃で、熱心にゴミを集める姿が見られた。	地域行事への参加を部活単位で行っているが、特定の部活動に偏っているため、すべての部活動に参加の呼びかけを行う。
雨の日や冬の寒い日には、チャイムが鳴った頃に校門付近に多くの生徒がいる現状がある。	生徒会の朝のあいさつ運動に今以上に教員が参加し、学校としての取り組みに、レベルアップしていく。
運動部が活発と感じている。保健体育の授業をみても、規律をもって取り組んでいる。地域の運動会にも参加数を増やして欲しい。	中体連の試合の日程など難しい面はあるが、学校の掲示板を有効活用して、広報活動を進めていく。部活動ガイドラインにそって、休日やうまく活用する。
小学校の合唱部と中学校の音楽部や男女バスケの小中交流会など継続した活動ができています。	地域の行事が、小中の交流の場として有効活用していく。カリキュラムマネジメントの観点で、少しずつでも学校教育の中に取り込んでいきたい。

3 総括・次年度の課題

- 本校の課題である学力向上に向け、教育効果の上がる授業改善をさらに進めていく。教科会の活性化をはかり、ベテランの教員から若年教員への具体的な研修の場を充実させたい。また、教科を越えての研修で、多角的な生徒理解に終わるのではなく、新しい授業展開・授業方法にチャレンジする意欲につなげたい。
- 本校の課題である家庭学習の不足解消に向け、週末課題の内容の見直しをはかる。今年度(2年間)までの課題の蓄積を有効活用し、生徒が意欲的に学ぶことができる課題にしていきたい。課題をすることで授業に対する意欲につながるものにしていきたい。
- 生徒の規範意識を向上させるため、教員の規範意識を高めていきたい。OJTを活用して、具体的に一つひとつ研修を深めていきたい。